

平成22年7月23日

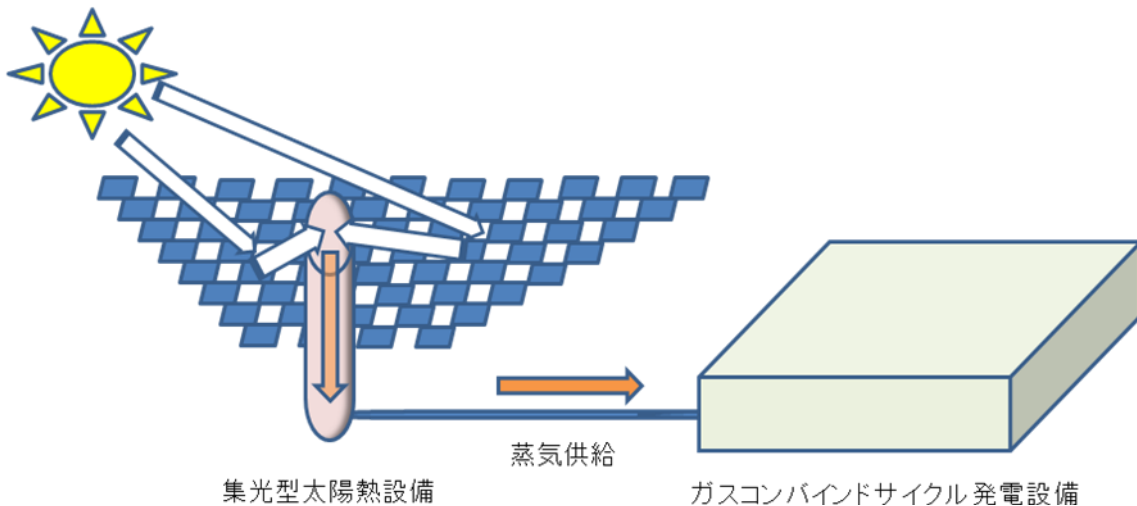
太陽熱発電に関するチュニジアとの共同プロジェクトの実施に合意 ～海外では初めてとなる太陽熱発電に関するナショナルプロジェクト～

松下副大臣とジュイニ・チュニジア開発・国際協力大臣との会談において、チュニジアにおける太陽熱発電に関する共同プロジェクトの実施が合意されました。本事業は「サンシャイン計画」以来36年ぶりの、海外では初めてとなる太陽熱発電に関するナショナルプロジェクトです。

1. 平成22年7月23日（金）にチュニスにおいて、松下副大臣はジュイニ・チュニジア開発・国際協力大臣と会談し、チュニジアとの共同プロジェクトの実施に関する共同声明を発表しました。
 2. 本プロジェクトは、太陽熱複合発電（タワー式の集光型太陽熱発電とガスコンバインドサイクル発電を複合して利用する。）で、チュニジア政府の進める、チュニジア・ソーラー・プラン（※1）に位置付けられます。
 3. 日本の優れた技術の海外展開を支援し、その橋頭堡とするため、官民が一体となりNEDO（（独）新エネルギー・産業技術総合開発機構）の実証事業として実施します。太陽熱発電としては、「サンシャイン計画（※2）」以来36年ぶりの海外では初めてとなるナショナルプロジェクトです。
 4. 本年12月にチュニジアにおいて開催が予定される、第2回の「日本・アラブ経済フォーラム（※3）」において、日本とアラブ地域間の協力関係を象徴するプロジェクトとなることが期待されます。今後の、実用化事業へのスケールアップと更なる普及に向けて支援します。
- （※1）2010年から2016年までの太陽エネルギーの利用を中心とした全40事業からなる、チュニジアの再生可能エネルギー導入計画。
（※2）1974年から2000年までの日本における太陽エネルギー等の石油代替エネルギー開発・導入計画。

(※3) 日本とアラブ諸国がビジネス推進と経済関係強化を通じて、相互のパートナーシップの深化を目指し、2009年12月に東京で第1回会合を開催。各国の政府及び企業関係者を中心に約1,200名が参加。

【太陽熱複合発電のイメージ】



【事業の概要（予定）】

- ・ 集光型太陽熱設備：5 MW
- ・ ガスコンバインドサイクル発電設備：39 MW

(別紙：太陽熱発電の特徴と今後の可能性について)

(本発表資料のお問い合わせ先)

通商政策局中東アフリカ課長 森
担当者：藤澤、金井

電話：03-3501-1511 (内線 3008~10)
03-3501-2283 (直通)

資源エネルギー庁省エネ・新エネ部国際室長 小野寺
担当者：小菅、石橋

電話：03-3501-1511 (内線 4531~6)
03-3501-1728 (直通)